

令和7年度 学校評価(定時制)

本年度の 重点目標	ア 高校を卒業したいという生徒の思いに応えるとともに、卒業後の進路を見通した指導の充実を図る。 イ 授業規律の確立に努め、すべての生徒が学習意欲を持てるように基礎学力の定着を図る。 ウ 思いやりの気持ちを育て、いじめや暴力を根絶することで安心・安全な環境を維持する。 エ 集団生活を通じて社会の規律を学ばせ、コミュニケーション能力を育む。 オ 多様な生徒へのきめ細かな対応を組織的に行う。 カ 組織及び個人の両面におけるコンプライアンスを徹底する。 キ 円滑な教育活動が推進できるよう、教職員の健康維持に配慮した体制を構築する。		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
生徒指導 （生徒指導部）	規範意識を高め、望ましい人間関係を構築させるための社会性の育成 		

			生徒の職業意識を高めるために、1年生に職業レディネステスト、2年生に職業適性検査を行った。4年生に対しては進路に関するグループワークを数回にわたり実施した。4年生が職業人として必要な知識と意識を身につけられるよう、社会保険労務士に講話を依頼した。 全体に対しては進路希望調査を学期ごとに行い、現状を把握するとともに、将来を見据えて高校生活を送ることができるよう意識付けを行った。 就職・進学、いずれの希望者に対しても担任教師と連携を取りながら指導した結果、12月末の時点で1名を残し内定・合格を得ることができた。
保健・衛生指導 (保健部)	健康の保持増進と健康生活の実践力の育成	健康診断及び事後指導の充実と「保健だより」などにより自身の健康管理意識を高めるとともに、教育相談活動を充実させ、心の健康教育の充実を図る。 健康観察を徹底し、生徒の心身状態の変化に早く気づき、早めに対処できるよう教職員間で情報交換を活発にし、生徒の心身の健康課題について問題の早期解決を図る。	生徒の精神面・健康面をサポートするためにスクールカウンセラーと密に連絡を取り、綿密な準備をしてカウンセリングを実施した。スクールカウンセラーによる現職教育を実施することで教員の意識を高めるよう配慮した。今後の課題として、生徒の実態把握をし、しっかりできるように生徒観察をさらに充実させ、生徒情報の共有を図りより細やかな生徒指導ができるよう配慮したい。また、例年通り「保健だより」を発行することや掲示物で健康に関する注意喚起を行った。生徒の色覚異常についても保護者の同意を得て検査を実施した。
給食指導 (保健部)	安心、安全な給食の提供	定期点検の実施及び食育の充実を図る	食に興味を持ってもらうために食材に関わる情報や食文化についての掲示物を給食室に掲出した。今月のミッションとして、メニュー作成に生徒の声を取り入れるようにしてその意見を反映できるようにした。魚や野菜離れの傾向がみられるので、メニューに工夫を加え食べやすくなるように配慮した。手洗いの徹底や食事中の携帯電話の使用禁止を指導することで衛生面の対策を実施した。手洗いに関しては意識を持って実施してくれている。
P T A活動と情報発信 (総務部)	保護者との日頃からの信頼関係の構築と地域との連携の強化	「学校評価アンケート」の実施及び中学校との連携を更に強化する。	2学期の第2回保護者会時に参加の保護者に「学校評価アンケート」を実施し、P T A理事会、総会を通して、保護者の意見・要望を聞く機会を確保した。本校志望者に対する学校見学を1年通して可能な限り積極的に実施し、地元中学との信頼関係の醸成に努めた。Web ページの更新頻度を上げ、積極的な情報発信に努めた。
部活動・生徒会活動 (生徒会係)	部活動の積極的な参加と学校への帰属意識の向上	部活動参加率の向上を図るとともに、生徒が意欲的に企画し、意欲的に参加できる行事を工夫する。	部活動は各部活ともよく活動し、柔道部は全国大会女子団体戦・個人戦に出場し、東海大会では個人優勝した。バドミントン部は全国大会に出場し、東海大会では優勝した。バスケケットボール部は県大会に二度出場し、日々の練習の成果が出ている。また本校は文化部がないが、生活体験発表大会では愛知県高等学校文化連盟賞を受賞し、文化面においても生徒の活躍が窺える。 生徒会行事については、遠足やボウリング大会、映画鑑賞会を実施することができ、生徒の出席率・満足度も高かった。校内行事は、予餞会、スポーツ大会、文化祭を行った。新生徒会執行部の意識も高く、有志の生徒も積極的に手伝いに参加するなど、行事へ主体的に取り組む生徒が増えている。
学校図書館 (図書係)	図書館利用のいっそうの拡大	「図書だより」の発行と図書館利用の推進を図る。	国語の授業、IT等を通して、生徒が興味関心を示しやすい図書の紹介に努めるなど、読書への興味関心を促した。
教員の健康維持に配慮した体制の構築	勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止	在校時間状況記録を点検し、検討する。	在校時間等の状況記録の集計結果等を毎月の安全衛生委員会で確認した。年間を通して1か月間の時間外労働は少なくとも抑えられていた。 引き続き時間外労働の一層の削減のために、定時退校日における定時退校の徹底を図り、職員の健康障害防止に努める。
総合評価		様々な事情を抱えた生徒の個に応じた指導を、教育活動全体において徹底してきた。 落ち着いた学習環境の維持、基礎学力の定着に向けた取組みを継続している。 また、定通総体での全国大会出場など、多くの生徒が部活動や生徒会活動などに積極的に参加し、学校生活を充実させ、心身共に成長することができた。 進学や就職活動においても個々の目標に応じた丁寧な指導を行い、成果を上げることができた。	